

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2017-174581(P2017-174581A)

【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2016-58064(P2016-58064)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

F 2 1 Y 103/10 (2016.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 4 3

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 S 2/00 4 3 5

F 2 1 Y 103:10

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一の主面を発光面、他の主面を反射面とし、少なくとも1つの側面を入射面とする導光板と、

前記入射面に対向配置される光源と、

前記入射面以外の側面に対向配置される反射部材と
を備えるバックライトにおいて、

前記反射部材は、拡散反射面を備え、両面テープにより前記入射面以外の側面に固定され、

前記入射面以外の前記側面は、前記両面テープが貼り付けられている部分と前記両面テープが貼り付けられていない部分を備えている

ことを特徴とするバックライト。

【請求項 2】

前記両面テープは、前記入射面以外の前記側面の長手方向の一端から他端に至る一体物である

ことを特徴とする請求項 1 に記載のバックライト。

【請求項 3】

前記両面テープは、前記発光面から前記反射面に向かう方向の幅が一定である

ことを特徴とする請求項 2 に記載のバックライト。

【請求項 4】

前記両面テープは、前記発光面から前記反射面に向かう方向の幅が場所によって変化する

ことを特徴とする請求項 2 に記載のバックライト。

【請求項 5】

前記幅は、前記入射面から離れるにしたがって広がるか、又は狭まることを特徴とする請求項 4 に記載のバックライト。

【請求項 6】

前記両面テープは、スリットを有する
ことを特徴とする請求項 2 から 5 のいずれか一項に記載のバックライト。

【請求項 7】

前記スリットは、場所によって密度が変化する
ことを特徴とする請求項 6 に記載のバックライト。

【請求項 8】

前記反射面と対向する反射面反射シートを備え、
前記反射部材は、前記反射面用反射シートの端部から延出した部分であって、
前記延出した部分は、折り曲げられている
ことを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のバックライト。